

令和3年度 経営学部 第3年次編入学試験【出題の意図】

〔経営学〕

1. 組織の分業と調整、官僚制について正しく理解できているかを問うものである。後段は、官僚制における順機能と逆機能について、具体的な組織現象に関連させて説明することが求められる。
2. 競争戦略の3つの類型について、コンセプトに関する知識だけではなく、具体的な例を挙げつつ説明することを求めている。
3. 組織学習とは何か、2種類の学習ループにおいて組織が陥りやすい学習傾向について問うものである。さらに、組織学習の失敗が引き起こす組織の硬直化・慣性の問題についても的確に説明することを求めている。

〔会計学〕

1. 簿記の仕訳の問題
2. キャッシュ・フロー計算書の能力を理解しているか
(5つの用語を使っているか。黒字倒産という言葉が入っているか)
3. 総合原価計算の問題(加工費配賦率が計算できているか)

〔マーケティング〕

マーケティング論の基本概念の構成や有用性を論理立てて説明する能力を取得していることを確認すると共に、それらの基本概念を用いて事例を分析的に理解し、説明する能力を取得していることを確認する。

〔経済学〕

- 問題1. 消費者の効用最大化問題を解き、需要関数を求める問題である。
- 問題2. 企業の費用最小化問題を解き、総費用関数を求める問題である。
- 問題3. 買い手独占が発生する場合の、市場の効率性を考察する問題である。
- 問題4. 寡占において企業が共謀する場合の均衡を求める問題である。
- 問題5. 不確実性下において、個人の期待効用とリスクプレミアムを求める問題である。

[数学]

1. (1) 行列演算ができるか。
(2) 1次独立性と行列の階数の関係がわかるか。
(3) 方程式が解けるか。
2. (1, 2) 微分・積分演算ができるか。
(3) 行列の符号を理解しているか。
3. (1) 極限の計算ができるか。
(2) 極限の定義に基づいて証明ができるか。

[小論文]

現在研究が進められているインパクト加重会計（以下、IWA）に関する新聞記事を読んで、IWAの特徴を簡潔かつ的確にまとめることができるかどうか、そして新しい制度の導入がもたらすベネフィットとコストを複眼的かつ論理的に思考できるかどうかを問うたものです。